

2005年

新春号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 137



「総合科学高校屋上から眺む山々」：佐藤 尚 画

- もくじ**
- 2 特集 音楽あふれるまち
 - 6 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085
TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) E-メール: stage-up@kpal.or.jp

特集 音楽あふれるまち

音楽は感動空間をつくる

美しい旋律に心安らぎ、軽快なリズムに心踊る。人々をひきつけてやまない音楽。区役所のロビーコンサートや市民館での音楽会、駅前広場の路上ライブ、病院の院内コンサートなど、まちにはたくさんの音楽があふれています。ステージ・アップではこれまで、地域社会のさまざまなジャンルで活躍している人物やグループを取り上げてきました。今号では「音楽」にスポットをあて、ユニークな活動をしている団体を紹介します。聞くだけでなく自分も歌う参加型の会、大人のための発表会、映像による鑑賞会など根強い人気で長年続いている活動や、緒についたばかりとはいえアイデアが光る活動のいくつかを紹介します。取材を通して「音楽」の持つ多彩なきらめきとパワーを改めて感じました。

●ジェイミーのコンサート～障害のある子どもを持つ家族が安らぐひとときを●

2004年11月18日。ミュゼ川崎シンフォニーホール的一角にある市民交流室で、これまでに例のない音楽会「ジェイミーのコンサート」がうぶ声をあげました。これは、障害のある子どもの介助で夜の外出がむずかしい家族を対象にしたもので、日中に開催する本格的な音楽会です。プロの演奏を間近で楽しみ、さらに音楽家を囲みお茶を飲みながら交流するという新しいスタイルの音楽会です。

企画したのは、川崎出身の世界的ピアニストで、同ホールのアドバイザーでもある小川典子さん。このコンサートはイギリスでの小川さんの体験がベースになって生まれたものです。「下宿先でジェイミーという自閉症の男の子と出会い、共に暮らすことで家族の心情も理解できました。音楽を通して心と通ずる時間を提供できれば」とずっと企画を温めていたそうです。

この小川さんの発案に賛同し協力を申し出たのが、「ミュゼ川崎開館準備委員会」の委員だった歯科医の竹内啓介さんです。クラシック音楽通の竹内さんですが、音楽会運営のノウハウはなく「一つひとつ手探り」で積み上げ、10ヵ月後



茶話会で歓談する小川さん

によりやく実を結びました。

コンサート当日、満員となった会場に小川さんの華麗なピアノの音が響いています。ドビュッシーやリストなど作曲家のエピソードを紹介しながら13曲を演奏、その超絶技巧で聴衆を魅了しました。後半は茶話会。小川さんがクッキーを配りながら感想を聞いています。終始和やかな空気に包まれていました。参加者の一人は「自閉症の子どもがいます。こういう音楽会は何年かぶりでも癒されました。今度は友達を誘って聞きにきます」と笑顔で話していました。

事務局長の竹内さんは「友人や知人がボランティアスタッフとして骨身を惜しまずさまざまな面で協力してくれました。このコンサートが地域に根つき、多くの人の安らぎになるような会に育てて行きたいと思います」と抱負を語っています。「川崎オリジナル音楽会」として今後の活動が期待されます。

◆第2回「ジェイミーのコンサート」のお知らせ◆

5月26日(木)11時から、ミュゼ川崎「市民交流室」にて。バイオリンとピアノの演奏。問い合わせは同コンサート事務局(竹内歯科医院内) ☎044(511)2955。

プロの華麗な演奏を堪能



●オペラ鑑賞同好会～映像でオペラを楽しむ●

「敷居が高い」「チケットが高い」と言われるオペラを、映像で鑑賞する会が中原区の国際交流センターホールで毎月第3木曜日の午後1時30分～3時30分に開かれているのをご存知でしょうか。「カルメン」「トスカ」「椿姫」などの有名な作品から、日本ではあまり知られていない作品までバラエティー豊かなメニューをそろえ、遠路駆けつける常連がいるほどの人気です。この会を主催しているのは「オペラ鑑賞同好会」(花澤幸男会長)。同会は「かわさき市民アカデミー」で学んだ仲間が地域貢献を目的に発足した組織「かわさき市民フロンティア」が母体となっています。1998年、フロンティアに所属するオペラ愛好家が集まり活動を開始。当初の会員は50人足らずでしたが、7年間で230人を超えるまでに拡大しました。

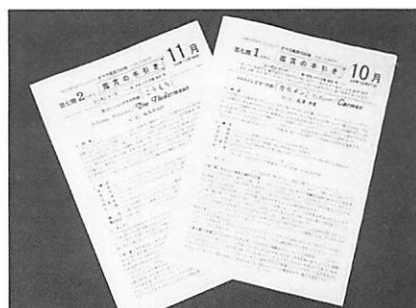
この会の特徴は、作品解説を交えた映像でのオペラ鑑賞で



上映前の解説も楽しみの一つ

す。170型プロジェクター大型映像装置と高性能音響装置を使用しているため臨場感のある総合舞台芸術を楽しむことができます。これまでの上映回数は70回、53演目を鑑賞しました。リクエストの多いオペラは2・3回上映したとのこと。また、資料として毎回配られる「鑑賞の手引き」も充実した内容です。これは、同会の運営に携わる榎本第次郎さんが作成しています。幕ごとのあらすじ、出演者のプロフィール、みどころを紹介した作品メモ、オペラに関する豆知識など、A4判8ページにびっしり書かれていて、読むだけでなく皆さんの知識を得ることが出来ます。上映前にはオペラに造詣の深い花澤さんら有志が軽妙な語り口で鑑賞ポイントを解説し、オペラの世界へと誘います。初心者にとって、緊張が取り除かれると同時に作品への期待が膨らむ時間でもあります。

会長の花澤さんは「オペラは同じ演目でも歌手や指揮者、演出家が変わると全く違った味わいになります。いろいろ勉強するともっと楽しくなります」と話していました。同会の連絡先は☎044(533)2390の榎本さん。



配布される資料は読み応え十分

●子どもも大人も共に歌い心通わす～お散歩コンサート●

奇数月の第2土曜日午後のひととき、散歩に出かけるような気分で誰もが楽しめる「お散歩コンサート」(吉浜富喜会長)は、入場無料で行われ、毎回大勢の参加者で会場(主に教育文化会館の大会議室)はいっぱいです。このコンサートは「一緒に歌う」「団体の発表」「歌を聞く」の3部構成で行われています。「大きな声で歌えて気分爽快」「変化があり楽しい」というのが人気の理由のようです。

コンサートの誕生は10年前。川崎市PTA協議会のOBが、地域で子どもと大人が交流できるような場作りについて思案していた時、市民館の成人学校で合唱を指導していた声楽家の古渡智江さんに出会ったことがきっかけです。ボランティアによる実行委員会が発足し平成7年、初回のコンサートを開催。約300人の参加者が古渡さんのリードで共に歌い、近隣の小・中学校の児童・生徒が演奏を披露したそうです。

初秋のある日、教育文化会館大ホールで行われた10周年記念コンサートに伺いました。「今日はよい日だ、みんな元気に…」とテーマソングが聞こえます。「一緒に歌いましょう」のコーナーでは、スタッフが作成した手作り歌集を手に「小



歌えばだれもが主役

さい秋見つけた」「小さな木の実」などを声高らかに歌っていました。「特別出演」のコーナーでは、地域で活動している「ロックソーラン」「コーラス」「和太鼓」「オカリナ」「川崎体操」の5団体が次々に登場し、日ごろの練習の成果を発表し、喝采を浴びていました。

実行委員会では、「参加者と一緒に創る」ことを意識して、アンケート結果を基にしてプログラムを作ったり、寄せられた意見や感想をプリントして配ったり、写真を自由に持ち帰れるよう掲示したりと工夫を重ねてきました。このきめ細やかな対応が、毎回たくさん人が足を運ぶ理由のようです。

荒井志津子事務局長は「これからも音楽を通して温かみのある新しい出会いの場を創りたい」と話していました。



子どもの発表に和む会場

●コージーコンサート～大人の音楽発表の場を提供●

マイワールドの音楽を披露



子育てを終えた主婦のコーラスデュオ。定年退職後に再びピアノを始めた方。サラリーマンの器楽アンサンブル。長年声楽のレッスンに励んでいるお医者さん。病で半身不随になりピアノでリハビリに励み舞台に立った方…。「年齢・性別・プロ・アマ・部門問わず」の大人を対象にした音楽発表会「コージーコンサート」の出演者は実に多彩です。

高津区のJR武蔵溝ノ口駅から歩いて6分。ビルの5階にある客席数150席の「靴ホール」(オーナー岡野洋貴さん)では、1995年から年2回、音楽愛好家の発表の場としてこのような音楽会を企画しています。出演者は一定の費用を支払い、聞く人は入場無料というシステムのコンサートは、毎回満席という盛況ぶりです。「舞台と客席が一体になり音楽の喜びを分かち合える」と好評です。

裏方を務めるのはオーナーの岡野さん一家。プログラム作成から当日の進行、舞台のセッティング、照明・録音・写真撮影などを担い、出演者をバックアップします。

「腕を競うのではなく、共に楽しみ交流することが目的です。出演者は初心者からセミプロ級の方までいます。一人ひとりがさまざまな過程を経て本番を迎えていて、まさにドラマのようです。舞台に立つことがみなさんの励みになればと思います」と岡野正子さんは話しています。同ホールでは随時出演者を募集しています。詳細はお問い合わせください。第24回のコンサートは2月13日(日)14時から行われます。

◆「ギャラリーでコンサート」のお知らせ◆

コージーコンサートとは別に、ビルの2階にあるギャラリーを入場無料のコンサートの場として無料提供しています。利用は原則として平日(火曜を除く)の14時以降。1時間程度の音楽会で、セッティング、片付け、集客などは利用者側で行うことが条件です。問い合わせ靴ホール☎044(812)6090



書画に囲まれた空間で音楽を

●楽器を知ればもっと楽しい～手引書『楽器の知識』●

「17世紀頃ヨーロッパでシャルモウと呼ばれている楽器があり、それがドイツの楽器製造者デンナーによって改良され、現在のクラリネットの形になりました。一以下略」。ウインドオーケストラ(吹奏楽)で使用する木管楽器、金管楽器、打楽器を中心として約50種類の楽器を写真や図を載せ、さらにその楽器が使われている楽譜の一部を紹介するなど分かり

五十種類もの楽器を分かりやすく紹介



やすく解説している冊子『楽器の知識』が今年の7月に生まれました。発行したのは、地域の文化振興を目指し音楽会の企画立案などを行っている市民団体「アルスノバ・ウエーブ」(小倉敬子代表)です。

発行の動機について小倉代表は「川崎は、『音楽のまち』

を推進していますが、我々市民として何が出来るかを考えました。市民館の事業などでコンサートにかかわっていますが、今後、音楽人口を増やすために、多くの方にコンサートを楽しんでもらい、演奏する楽器に親しんでいただくことが必要なのではと思いました。そのために楽器の由来、形状、演奏曲目などを分かりやすく書き、視覚的にも楽しめることなどを基本として製作しました。中学校の教材としても活用していただければ嬉しいです」と話してくれました。執筆は同会の会員でもあり宮前ウインドオーケストラの指揮者である箕輪響さんが、編集は事務局の村田典さんが担当し、印刷を除いてすべて手作りで発行することができたということです。

新春、1月30日(日)宮前市民館での文化サロン「楽器の知識とミニコンサート」、3月13日(日)高津市民館での子どもと楽しむセミクラシックコンサート「世界を巡る音楽の旅」でこの「楽器の知識」の活躍が期待されます。さらに音楽に関する書籍の第2弾も今後予定されているようです。

●楽器の知識《ウインドオーケストラの楽器を知ろう》

著者 箕輪響 発行 アルスノバ・ウエーブ 24頁 500円
問合せアルスノバ・ウエーブ事務局☎・Fax044(853)4737

●川崎童謡の会～それぞれの思い出をのせて歌う●

ピアノ伴奏に合わせて、300人を越す方々が体で拍子を取りながらにこやかに童謡を歌っています。月に一度、中原市民館のホールで行われる「川崎童謡の会」の例会には、50代から80代の会員が集い、指導者の指揮にそれぞれの思い出をのせて楽しく歌っています。

「川崎童謡の会」(中山敏男会長、会員2000人)の発足は1992年4月。中原区PTA協議会20周年記念式典のアトラクションで、全国的にブームになっていた「童謡を歌う」催しを行ったことがきっかけです。当時のPTA協議会会長の故田辺二三男さんが「川崎にも会を作ろう。親から子へ歌い継がれてきた童謡・唱歌を、次の世代に伝えながらふれあいを深めよう」と呼びかけました。

晩秋のある日、例会があるというので中原市民館ホールを訪ねました。この日は「歌い継ぎたい小学唱歌」をテーマに、男声合唱団「横浜グリークラブ」の40人をゲストに迎える会でした。前半はゲストによる演奏。小学校時代に習った6曲を重厚なハーモニーで聞かせていました。後半は合唱団の方々が客席に降り、会員と一緒に童謡を歌います。「手をつないだりたいたたりしながら歌うんですよ」という指導者の松崎陽治さんのユーモアあふれるリードに、会場は笑いに包まれます。「ひらいたひらいた」「茶つみ」などの曲



多くの人の参加で楽しさ倍増

を、童心に帰って隣りの人と手を合わせ楽しそうに歌っていました。

会員は「うまい下手に関係なく、子どものころの思い出に浸れるのがいいですね。ここへ来ると元気になります」「温かい雰囲気の中だからこそ大きい声で歌えます。毎月ここで友達と会えることもとても楽しみです」と、12年続いている会の魅力を口々に話していました。

問い合わせ 川崎童謡の会事務局吉井さん

☎044(434)6417。

●小・中・高校生が作り上げた子どもの「音楽の祭典」●

市教育委員会では、川崎市制80周年とミュージア川崎のオープン記念し、市内の小・中・高校生(私立学校を含む)を対象に子どもの「音楽の祭典」、子どもによる「かわさきの歌づくり」、子どものための「オーケストラ鑑賞」の3つの音楽活動を進めてきました。

11月中旬、子どもの「音楽の祭典」がミュージア川崎シンフォニーホールで開催され、市内の小学校1年生から高校3年生までの約600人が歌や器楽の演奏を披露しました。出演者は、この日のために休日に集まり練習を重ねてきたそうです。

「オープニング」では、市制50・60周年記念歌「楽しいみんなの町」

「好きですかわさき愛の街」など4曲を、10中学校と2高等学校の生徒で編成された合同吹奏楽団と、公募で集まった子どもを含めた3小学校、7中学校、4高等学校の児童・生徒からなる合唱団により演奏されました。

続いて「音楽のまち・かわさきの歌」の表彰と曲の紹介がありました。102編の詞、72曲の応募作品の中から公開選考会を経て決定したのは、浅川由加里さん(菅生中2年)作詞、出雲謙一さん(多摩高1年)作曲の「かわさきのねいろ」。浅川さんは「川崎のよいところを紹介するつもりで書いた」。出雲さんは「空を見上げるようなイメージで、小さい子ども歌えるように曲をつくった」とそれぞれ思いを語りました。

後半は「音楽で表現する川崎の80年」と題し、10曲を演奏。ハンドベル、マリimba、サキソフォンなどの多彩な音色がホールに響き渡りました。フィナーレでは吹奏楽の伴奏に合わせて、小・中・高校生合同で「かわさきのねいろ」が高らかに歌われ、1000人の観客から盛んな拍手を浴びていました。

出演した小学生は「大きなホールで中・高校生と一緒に歌えたことと吹奏楽を近くで聞いたことが嬉しかった」と笑顔。

河野教育長は「子どもたちには限りない力があるということを実感しました。これからも力を発揮できるような場を設定していきたい」と話していました。



多彩な音色が調和しホールに響く

●アカデミー●

かわさき市民アカデミー
第10回学園祭を開催

11月中旬、かわさき市民アカデミーの第10回学園祭が川崎市生涯学習プラザを主な会場に開催されました。この学園祭は、アカデミーに集う受講生が企画・運営したもので、講演会や演奏会、展示など19の催しが行われました。

開会式に続く記念講演では阿部孝夫・川崎市長が「戦略としての川崎臨海部の再生・活用からゼロエミッションまで～環境先進型まちづくりの視点」のテーマで講演。臨海部再生、エコタウン構想、アジア起業家村構想、国連環境計画UNEPとの連携などについて、資料を提示しながら話されました。100人の参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

また、「03政治・国際コース」会員が企画した「アメリカ大統領選挙とこれからの世界」にも大勢の市民の参加がありました。ここで、企画した受講生の報告を紹介します。

03政治・国際コース 真田 大陸

「03政治国際」コースの主催で、成蹊大学遠藤誠治教授の「アメリカ大統領選挙とこれからの世界」が11月21日川崎市生涯学習プラザで行われました。

今回のテーマは、アメリカ大統領選挙直後のタイムリーな内容でもあり、会場を埋め尽くした人々の数が、このテーマの重要性を示していました。

講演は、①アメリカ選挙結果の解析②新政権の陣容と政策③イラク戦争と中東政策④地政学的変化⑤米軍再編成⑥東アジアの変化と日本の政策に至るまで幅広く、大変興味深い内容でした。この内容にふれますと、人口5万人以上の都市は民主党、それ以下は共和党が勝利しており、共和党支持者は、国際情勢や政策の詳しい内容を認識していない人が多いという調査があります。その理由としては、ニューヨークタイムズ紙のような全国紙は大都市でしか読まれず、農村地域などでは豊富な国際情報が得られない有権者が多いということでした。このようなアメリカの状況を聞きながら、今後日本でも考えるべきことが多いだろうと思いました。2期目を迎えるブッシュ政権と日本の小泉政権は、どのように対応していくかについても話されました。在日米軍との再編成とミサイル防衛については、在日米軍は日本を守るために役に立つか？という議論と共に、東アジアの平和秩序の構築が急務であることが述べられました。最後は、日本独自の利益を定義できる力の再建が必要であり、ミサイル防衛が要らない東アジアになることを力説されて、講演会は終わりました。

アカデミーでの多くの講演は、大変有益であり、自分や自分の国を振り返る刺激になることを感じています。これからも、より多くの方が参加して地域の問題から国際情勢まで学び合い、日本の社会により貢献できたらと期待しております。

生涯学習ア

●まなぶ●

パソコンセミナー受講生募集

パソコンの基礎から応用まで幅広く講座を開催しています。1月の講座、申込締切を過ぎても空いている場合もありますので詳しくはお問い合わせください。

講座名	難易度	講座No.	開催日	受講料	申込締切
パソコン入門	☆	2-A	2/3(木)・4(金)	13,000円	1/13(木)
パソコン ステップアップ	★	2-B	2/8(火)・9(水)	13,000円	1/19(水)
WORD初級	★★	2-C	2/16(木)	6,500円	1/26(木)
EXCEL初級	★★	2-D	2/17(木)	6,500円	1/27(木)
ゆっくりじっくり パソコンセミナー	☆	2-E	2/18(金)・25(金) 3/4(金)・8(火) 18(金)[全5日間]	25,000円	1/28(金)
パワーポイントで プレゼンテーション	★★★★	2-F	2/21(月)	5,000円	1/31(月)
デジカメ画像 編集講座	★★	2-G	2/22(火)	5,000円	2/1(火)
WORD中級	★★★	2-H	2/23(水)・24(木)	13,000円	2/2(木)
パソコン入門	☆	3-A	3/1(火)・2(水)	13,000円	2/8(火)
EXCEL中級	★★★★	3-B	3/5(土)・12(土)	13,000円	2/12(土)
パソコン ステップアップ	★	3-C	3/10(木)・11(金)	13,000円	2/17(木)
WORD初級	★★	3-D	3/15(火)	6,500円	2/22(火)
EXCEL初級	★★	3-E	3/16(水)	6,500円	2/23(水)
パソコンQ&A	★~★★★	3-F	3/22(火)	2,500円	3/1(火)
住所録作成講座	★★★	3-G	3/24(木)	5,000円	3/3(木)
デジカメ画像 編集講座	★★	3-H	3/25(金)	5,000円	3/4(金)
ホームページ作成	★★★★	3-I	3/29(火)・30(水)	13,000円	3/8(火)

◆会場…川崎市生涯学習プラザ 3階研修室

◆受講時間…9:30~16:30(昼休憩1時間あり)

パソコンQ&Aのみ9:30~12:30

◆定員…各15人。

◆対象…18歳以上。2-E、2-G、3-F、3-Hは概ね50歳以上。

◆申し込み…はがき・Fax・電話で。希望講座No.、〒、住所、氏名(ふりがな)、☎、Fax、年齢、受講目的を明記。

〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内
学習推進室 パソコンセミナー係

問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5894/ Fax(739)0085

ラ・カルト

●はぐくむ●

「青少年の家フェスタ」を開催
—川崎市青少年の家—

毎年3月に開催している「青少年の家フェスタ」は、今回で第9回を迎えます。このフェスタは、青少年の家を日頃利用している各種団体等の活動内容や成果の発表、また各種イベントを通して、青少年の情操を豊かにするとともに、広く市民の皆様へ「青少年の家」をご理解いただき、親しんでもらうために開催しています。発表会や模擬店、工作コーナーなど楽しい催しをみなさんのご来場をお待ちしています。

◆日 時… 3月13日(日) 10時～15時30分

◆会 場…川崎市青少年の家(宮前区宮崎105-1)

問い合わせ 川崎市青少年の家 ☎044(888)3588

●さがす●

「生涯学習情報」の検索もインターネットで

これまで、生涯学習情報は、主に市内44カ所の公共施設に設置されている「ふれあいネット」の利用者端末を操作することにより得ることができました。

昨年12月から「ふれあいネット」がインターネットを経由して利用できるようになったことに伴い、公共施設の利用予約(抽選申込みや予約照会など)と同様に「生涯学習情報」もインターネットに接続されたパソコンから情報を引き出せるようになり、より身近になりました。

操作方法は、まず川崎市の公式ホームページ(<http://www.city.kawasaki.jp/>)にアクセスしていただき、以下の手順で操作していただくと、生涯学習のページが表示されます。目的のデータベースやキーワード検索の機能を使って、学習情報にアクセスしてください。

手 順

- ①「川崎市の公式ホームページ」からクイックリンクの「ふれあいネット(施設予約)」をクリック▽
- ②「ふれあいネット」のトップページが表示されますので、「ふれあいネットインターネット入口」をクリック▽
- ③「ふれあいネット川崎市公共施設利用予約システム」のページが表示されますので、「ふれあいネット」ボタンをクリック▽
- ④「●業務を選択してください●」の「生涯学習」をクリック

なお、「団体・グループ情報」と「指導者・人材情報」にかかわる個人の連絡先等については、プライバシー保護のためご覧になることができませんので、学習情報室へお問い合わせください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

アカデミック色彩

国際支援活動をする

梅田 宏之さん

梅田宏之さんは、「かわさき市民アカデミー」に一期生として入会し、いまでも学び続けている向学心旺盛な方です。「かわさき市民フロンティア」のメンバーとして国際交流を担当している方でもあります。同会では、インド女性のための識字プロジェクト「あしたの会かわさき」の支援をしています。その支援の窓口を務めています。7年目を迎えた「あしたの会かわさき」は昨年、ボギ・サンギ村に「シャンテ女性センター」を建設しました。現在、センターを拠点に文字を知らないインドの女性たちが、子どもたちと一緒に生き生きと学習をしています。梅田さんはその支援にずっと携わり見守ってきました。



梅田さんの活動はそればかりではありません。川崎市国際民間交流団体連絡協議会の一員として「INTEX-V-NET」に参加し、国際ボランティアネットワークづくりを目指しています。また、国際交流部門から推薦され「かわさき市民活動センター」の理事にも就任しています。さらに、川崎市外国人市民代表者会議を常に傍聴したり、留学生の身元保証人になったり、「同じ地球に生きる人同士」という目線で幅広く活動しています。

さて、梅田さんと国際支援活動の最初の接点ですが、現役時代の仕事と関係があるようです。現役時代はコンビナート建設の技師として世界中で仕事をしていました。70代の今でも東京理科大学の非常勤講師として教壇に立っています。

梅田さんは、ひょうひょうとしたお人柄で、表面に立つことがなく、裏方の仕事を黙々とこなす実直さに定評があり、活動を共にする仲間からいつも信頼されています。これからも、このようなスタンスで、国際支援活動を続けることでしょう。

(かわさき市民フロンティア 長村 秀一 記)

このコーナーは「かわさき市民アカデミー」の修了生による組織で地域貢献を目的とした「かわさき市民フロンティア」が担当します。

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●「2005年動物たちに年賀状を」

「夢見ヶ崎動物公園の可愛い動物たちへ「年賀状」で新年の挨拶をしてみませんか」。募集期間は1月1日(土)～16日(日)。動物の絵やイラスト、写真など。展示期間は1月28日(金)～2月14日(月)に夢見ヶ崎動物公園内。☎(588)4030の同園。

●おもてなしのお煎茶1日講習会

1月27日(木)10時半と14時。川崎市民プラザ。煎茶の歴史、お茶の効用など。定員は午前、午後共25人。☎受講料1000円を添えて同プラザフロント。☎(888)3131の同プラザ。

●点字基礎講座～視覚障害者への理解を深める

1月24日～2月28日の毎月曜10時から12時。全6回。場所は麻生区細山の川崎授産学園。定員25人。テキスト代630円。☎1月15日(土)まで往復はがきに住所、氏名、☎を記し〒215-0001麻生区細山1209川崎授産学園「市民交流事業係」。☎(954)5011。

●入門手話講習会

2月3日～3月3日の毎木曜18時半、全5回。場所は川崎市南部身体障害者福祉会館。対象は市内在住、在勤・在学の方、40人。無料。☎1月24日(月)必着。往復はがきに住所、氏名(フリガナ)、年齢、☎、「入門手話講習会」と記し、〒210-0834川崎区大島1-8-6の同館。☎(244)3971。

●市民健康セミナー「老年期の皮膚病について」

2月26日(土)14時から。会場は川崎市中小企業婦人会館。講師は鹿島真人聖マリアンナ医科大学東横病院皮膚科部長。講演後は質問・相談に応じる。看護・処置・薬・福祉の各相談コーナーあり。無料。先着150人。当日直接。☎(722)2121内線521の同病院総務課。

●朗読(音声訳)入門講習会

2月5日～3月5日毎土曜10時、全5回。北部身体障害者福祉会館。無料。☎1月28日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、「朗読」と記し〒213-0001高津区溝口1-18-16の同館。☎(811)6631。

●堀田力氏講演会～自分を認める

2月5日(土)15時開演。高津市民館。入場料1000円。☎(434)0253の川崎いのちの電話事務局。

●地球市民講座「軍隊のない国コスタリカから世界を見る」

2月19日(土)14時。川崎市国際交流センター。講師は伊藤千尋朝日新聞記者。無料。☎(435)7000の国際交流協会。

●川崎市立看護短期大学特別講演会

3月5日(土)13時半。「腰痛について」。講師は平林冽・慶応義塾大学医学部元教授。場所は川崎市立看護短期大学。無料。☎(587)3500の同大学。

●春休み創作教室 ①陶芸②工作③茶道④パッチワーク

①は3月5日(土)6日(日)19日(土)27日(日)13時半。②は3月26日(土)27日(日)28日(月)29日(火)9時半③④は3月28日(月)29日(火)30日(水)31日(木)③は9時半。④は13時半。場所は川崎市青少年創作センター。対象は小・中学生。定員は各30人。費用は①1000円②③1500円④500円。☎1月21日(金)～2月11日(金)までに往復はがきに教室名、氏名、住所、性別、☎、学校名・学年を記し〒214-0034多摩区三田2-3303-1同センター。☎(911)1510。

●玉川大学公開講座

1月開講の「博物館学講座」「初めての手話」「スペイン語会話」など15講座の受講生募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●クリエイイト科学館の一般公開

2月13日(日)13時半。場所は麻生区黒川の発見工房クリエイイト。常設展示物の体験と解説。毎回テーマの異なる工作コーナー有り。予約制。対象は小学4年～大人。入館費大人800円、小・中学生500円、工作材料費200円。☎(981)1892。

●東芝科学館実験教室 ①GEMS探検隊②ガリレオ工房

①は1月15日(土)「水にすむ生き物のミステリー」▽2月19日(土)「確率とサイコロのミステリー」。10時から小学1年～3年。13時半から小学4年～中学生。②は1月22日(土)「気体の膨張」▽2月26日(土)「よく走るモーターカーを作ろう」。10時と13時半。小学4年以上。教材費は各500円。☎(549)2200の同館。

●ミニ画廊スナック「琴」①書道8人展②写真(花・風景)

①1月29日(土)まで上田律子他の作品。②1月29日(土)～2月12日(土)、倉石彰の作品。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

●西の絵・現代日本画洋画展

1月11日(火)～26日(水)。川崎区の砂子の里資料館。無料。10時開館。日・祝日休館。☎(222)0310。

●子どもたいけんミュージアム①「絵馬をつくろう」②

「日本画をかこう」

①は1月22日(土)②は2月26日(土)。①②とも13時半から15時半の好きな時間。場所は川崎市市民ミュージアム。対象は小・中学生とその保護者。無料。☎(754)4500の同館。

●お散歩コンサート

1月8日(土)14時開演、川崎市教育文化会館大会議室。声楽家古渡智江さんの指導で童謡や唱歌などを参加者で歌う。特別出演は川崎中学校の有志による合奏、いこいシルバーハーモニカバンド他。無料。☎(233)6361の同実行委員会。

●こころの歌・童謡コンサート

1月11日(火)13時半開演。高津市民館。塚田佳男・小原孝によるピアノ連弾。2000円。☎(434)6417の川崎童謡の会事務局の吉井さん。

●川崎市教職員音楽会

2月5日(土)13時45分開演。麻生市民館。市内公立学校の教職員の演奏。無料。☎(987)6367片平小の大野さん。

●「コージーコンサート」出演者募集

音楽を愛好する成人を対象とした発表会。2月13日(日)14時から靴ホールで行うコンサートの出演者を募集。部門は問わず。主にクラシック。詳細は☎(812)6090の靴ホール。

●男声合唱団「高津メンネルコール」団員募集

毎木曜18時半から高津市民館などでを行っています。指導は田中良一・洗足学園音楽大学講師。団費月4000円、入団費1000円。北原白秋、黒人霊歌など。☎(833)2857の東井さん。